

錦川水の祭典

第48回

8月8日、錦帯橋周辺で「第48回錦川水の祭典」が開催され、約12万人の人出でにぎわいました。

当日は宝探し大会、木とあそぼう、岩国太鼓による演奏、吹奏楽演奏会の披露などさまざまなイベントが行われ、会場は盛り上がりを見せていました。

メインイベントの花火大会では約6,000発の鮮やかな花火が夏の夜空を彩り、訪れた多くの観客を魅了していました。



共に汗を流して

7月4日、由宇総合支所と由宇文化会館前の花壇の植え替え作業が行われ、ボランティアとして由宇地区の団体や中学生、支所の職員など総勢47人が参加しました。

花壇の伸びきった雑草を刈り取った後、色鮮やかな花を植えました。どの参加者も自発的に行動し、楽しくおしゃべりをしながら爽やかな汗をかいていました。



大切なふるさとの清流を美しく

7月12日、雨や増水などで中止が続いていた錦川流域河川一斉清掃が、4年ぶりに開催されました。小雨の中行われた清掃活動には、みかわ実行委員会から132人が参加しました。ごみの中には自転車やパイプ椅子などがあり、参加者は大切なふるさとの清流を守り育てることの必要性をあらためて感じました。

Iwakuni City Topics | まちの話題



自己ベストを目指して

7月24日、高森小学校プールで「水泳競技会」が開催されました。周東町内の小学校7校から5・6年生が参加し、自由形、平泳ぎ、リレーのタイムを競い、自己ベストに挑みました。

梅雨空の下での大会となりましたが、児童たちは、プールサイドから響く保護者や友人の声援に応え、懸命に泳ぎました。



不審者から身を守ろう

7月14日、美和西小学校で校内への不審者の侵入を想定した「防犯訓練」が実施されました。

秋掛駐在所などの協力の下、児童たちは不審者に扮した駐在所員から、不審者と遭遇した際の対処法を学びました。

児童たちは、この体験を通して自分の命は自分で守ることの大切さを再確認しました。



まちなかの交流拠点施設 がオープン

7月21日、中通り商店街に空き店舗を利用して整備された「岩国まちなか倶楽部」の開所式が行われました。倶楽部では、特産品の展示・販売を行うほか、新規出店希望者の相談・サポート窓口、イベントや会議などに利用できる交流スペースを設けるなど、中心市街地の活性化を推進する拠点として活用される予定です。



最後まで全力で！

7月26日、第34回全日本選抜ローラースキー羅漢山大会が開催されました。台風の接近で天候が心配されましたが、良い天候に恵まれました。

総勢77人の選手が日々の練習の成果を発揮し、懸命にゴールを目指して最後まで走り抜きました。



身近な川にはどんな生き物が!?

7月27日、玖珂町の野口下公会堂で親と子の水辺の教室が開かれました。当日は天候が優れず、実際に川に入っの観察はできませんでしたが、ミクロ生物館職員からの「水の汚れ具合で生き物が違う」などの興味深い話を聞いたり、川の生き物を顕微鏡で見たりと、親子で楽しく学習をしました。



よ 夜～遊びました

7月25日、錦ふるさとセンターで「夜～遊びフェスタ 2015」が開催されました。

ひろせ保育園のお遊戯を皮切りに、地元小中学生によるダンス、歌謡ショー、よさこいなど多彩な催しがステージを盛り上げました。

最後は抽選会で締めくくり、夜～遊んだ、暑～い夏の夜になりました。